

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2026

10.16-26

2026年5月31日

『Under 35 Architects exhibition 2026』

わが国を代表する建築家への登竜門としての展覧会 U-35

「Under 35 Architects exhibition 35 歳以下の若手建築家による建築の展覧会 2026」は、開催 17 年目となる今秋、大阪駅前・うめきたシップホールにて開催します。昨年末より若手建築家を対象として、これからの活躍を期待される 35 歳以下の出展候補者を、全国から公募で募り、日本を代表するひと世代上の建築家の中から本年は、建築家である藤本壮介氏による厳正な審査を経て、出展若手建築家が選ばれました。また開催中に行うシンポジウムでは、優秀な展示作品を審査・選出し、Under 35 Architects exhibition 2026 Gold Medal 賞、Tyo Ito Prize (伊東賞) を授与します。本展は、これからの活躍が期待される若手建築家に発表の機会を与え、日本の建築の可能性を提示し、建築の今と未来を知る最高の舞台となるでしょう。



本年選出された建築家は、甲斐貴大 (studio arche inc.)、Hana Hayakawa Greer (aki(architects))、佐藤熊弥 (tandem)、田代夢々 (Ateliers Mumu Tashiro)、Ghali Bouayad (YOKOMAE et BOUAYAD)、保坂整 (保坂整建築設計事務所)、湯ノ迫史 (サコキカク)。それぞれが今後の活躍を期待される日本の宝です。

開催期間中は、日本を代表する企業によるギャラリー・イベントや、若手建築家によるギャラリー・トークを毎日開催。そして今年から日本を代表し全国で活躍する、出展者のひと世代上の建築家によるイブニングレクチャーも行います。そしてゲスト建築家の審査において、Under 35 Architects exhibition 2026 Gold Medal と Tyo Ito Prize (伊東賞) が各 1 点贈られます。

脈々と受け継がれる建築の歴史と技術。現代ならではの若手の個性が、「今の時代」をより良いものに昇華させていく。これからの日本の建築の在り方や可能性。本展は、建築の今と未来を知る最高の舞台となります。

本展は、まさにこれからの時代を担っていく、最も若い世代の建築家たちによる展覧会です。建築家としての経験も浅く、まだまだ荒削りなところや成熟していないところもあるのかもしれませんが、それでもあえて建築をつくるという、厳しい道を選び、ひたむきに未来へのプロセスを模索する建築家が集まり、共に未来をつくっていくための出発点となる場をつくることは、大きな意義を見出せることと信じています。この展覧会を通して、これからの建築の可能性を感じていただけることでしょう。

U-35

Under 35 Architects exhibition 2026
10.16-26

考えて、考えて、考える冒険。

若手建築家が集い、五十嵐淳、平田晃久らが語る、11日間。

出展者プロフィール



甲斐貴大

1993年宮崎県生まれ。2017年東京藝術大学卒業。同大学教育研究助手、スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (ETHZ) 客員講師を経て、明治大学助教、東京藝術大学非常勤講師。大学在学中の2016年、設計から制作、施工までを一貫して手がける工房として studio arche 設立。理論と実践を往復する「工学的工芸」を起点に、家具、彫刻、インスタレーション、建築に至るまで、領域とスケールを横断した制作を行う。主な作品に大塚・関西万博休憩所の家具群「Seating / Object for EXPO 2025」、台北市指定史跡の改修「MITRL Taipei」、構造解析と樹種を対応させたインスタレーション「as it is」など。



Ghali Bouayad

1992年生まれ。モロッコ人。HMNOP 建築士、博士(美術)。2021年東京藝術大学美術研究科博士課程修了。2015年、(V)・ラヴレイト建築大学修士課程修了。2021年から2023年まで、妹島和世 + 西沢立衛 / SANAA にて、うめきた大屋根や深セン海洋博物館などを担当。2023年、建築家の横前拓磨氏と共に、アジア、アフリカ、中東地域におけるプロジェクトに取り組み国際的なアトリエ、YOKOMAE et BOUAYAD を立ち上げた。2024年、仙台の国際センター駅北地区複合施設公募型プロポーザルにおいてファイナリストに選出され、同年 Institut du Monde Arabe から U34 アラブ世界デザイン賞にノミネートされた。



Hana Hayakawa Greer

1994年福岡県福岡市生まれ。日本とニュージーランドにルーツを持つ。University of Auckland 建築学部卒業。同大学大学院修了。2016年-2020年 SANAA に勤務し、国内外のプロジェクトに携わるとともに、「みんなの家 (Home-for-All)」の活動に参画。2021年、ヘクター・パランテ・モンテスと共に aki(architects) を設立。秋月を拠点に、国内外で建築設計を基礎とした社会実践を行う。第43回 SD ビュー SD 賞、第38回福岡県美しいまちづくり建築賞 [建築住宅センター理事賞] 受賞。『TIME』誌「World's Greatest Places 2025」に選出。2023-2025年、筑業女学大学現代社会学部非常勤講師。2025年-九州工業大学、2026年-九州大学および九州産業大学にて非常勤講師。



保坂整

1990年神奈川県横浜市生まれ。2009-17 東京工業大学 / 大学院卒業 (ミラノ工科大学留学、ロンドン GBA 勤務)。2017-24 藤本社介建築設計事務所勤務。2024、保坂整建築設計事務所設立。3〜15才まで陶芸家藤田昭子に芸術を習い、人が入る巨大な陶芸作品で遊びまわり育つ。学生時には三協アルミ始め様々なコンペで受賞多数。藤本事務所では大宰府天満宮仮殿を担当する等、チームリーダーとして従事。独立後は「地球、使い手、歴史とのリアクション」「時間をかける段階性」「個人的な事は社会的な事」「狩猟採集、農耕近代、そしてその先へ」これらを目標に、建築の新たな「未知」を見つけ、価値を作る製作活動を行う。



佐藤熊弥

1991年東京都生まれ。2017年東京藝術大学油画修士課程修了後、2020年早稲田大学芸術学校建築都市設計科卒業。2019-2023年西澤敬夫事務所勤務。2023年に加来悠と tandem 開設。設計業務の傍ら、絵のお店 TANNERALUM の運営を2019年から、カフェ / コワーキングスペースの STUDY の運営を2024年から行っている。特に絵画が空間の中に置かれることにより、絵画と建築が互いにどのように影響するかというテーマを模索している。主な仕事に「フランク・ロイド・ライト 世界を結ぶ建築」パナソニック汐留美術館 (2024・展示デザイン)、「ある家族の会話」集合住宅・店舗 (2024・改修設計) など。



湯ノ迫史

1990年東京都生まれ。2014年東京藝術大学卒業。2016年同大学院修了。アトリエ・ワン一級建築士事務所を経て、2021年に渡英。A small studio (London) に勤務。2023年に帰国し、独立。サキカク主宰。建築物の設計やデザインと共に使われ方を求めて提案「キカク」し、提供している。主な仕事に、被災した駅に計画した舞台「袋田プラットフォーム」既存ビル2層に渡ってアトリエファンが集まる家を展開させたカフェ「House of fans」衰退した宿場の復興を目指して改修した1軒目の宿「半芸ハウス」姉と猫の暮らしのための部屋「Aneko room」などがある。



田代夢々

1995年東京都生まれ。2017年早稲田大学創造理工学部建築学科学卒業。パリ・ラヴレイト建築大学および Antonini Darmon Architects Paris を経て、2020年早稲田大学理工学部創造理工学研究科建築学専攻修了 (古谷誠章研究室)。2019〜2022年レミングハウスにて中村好文氏に師事。2022年 Ateliers Mumu Tashiro 設立。同年、2025年日本国際博覧会 休憩所他 設計業務の優秀提案者に選出され「トイレ8」を設計。小屋のような建具「青い扉 - 荻窪 Bar 第1期改修」を展開したリノベーション作品「人間的な家」にて、U-35 Architects exhibition 2025 Gold Medal を受賞。



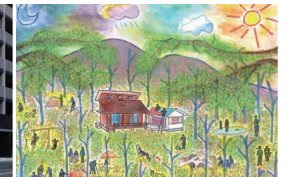
《plateau》
甲斐貴大



《Architecting in Akizuki》
Hana Hayakawa Greer



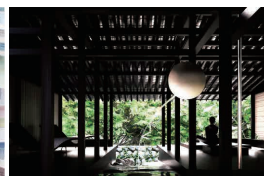
《ある家族の会話》
佐藤熊弥



《有機的な家》
田代夢々



《Experimenting, Inventing, Architecture(ing)》
Ghali Bouayad



《ミナリの庭 - 野らと洞と空と -》
保坂整



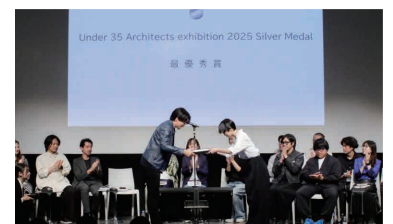
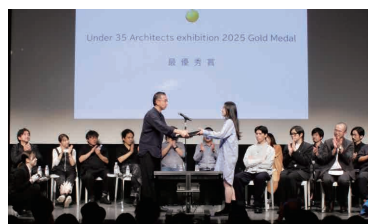
《半芸ハウス》
湯ノ迫史

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2026
10.16-26

開催概要

展覧会名	35歳以下の若手建築家による建築の展覧会 2025
日時	2026年10月16日(金)～26日(月) 12:00～20:00 [11日間] 開催期間無休 ※ 各日19:30最終入場 最終日は16:30最終入場、17:00閉館
会場	グランフロント大阪 うめきたシップ 2F うめきたシップホール 〒530-0011 大阪市北区大深町4-1
入場	¥1,000
主催	特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ
特別協力	一般社団法人グランフロント大阪TMO 一般社団法人ナレッジキャピタル
特別後援	大阪府 大阪市 EXPO2025 大阪市観光局 毎日新聞社
特別協賛	株式会社ユニオン ダイキン工業株式会社 株式会社シェルター SANEI株式会社 ケイミュー株式会社 株式会社オカムラ 株式会社山下PMC
連携協賛	パナソニック株式会社
協賛	株式会社丹青社 株式会社乃村工藝社
助成	独立行政法人日本芸術文化振興会
連携協力	大阪市高速電気軌道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 阪急電鉄株式会社
展示協力	株式会社インターオフィス 株式会社カッシーナ・イクスシー 株式会社観察の樹 キヤノン株式会社 ソフトバンク株式会社 株式会社パシフィックハウステクスタイル 株式会社目黒工芸 USM U.シェアラー・ソーンズ株式会社
協力	アジア太平洋トレードセンター株式会社 リビングデザインセンターOZONE 財団法人大阪デザインセンター 公益財団法人大阪産業局
後援	一般社団法人日本建築学会 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会 公益財団法人日本建築士会連合会 公益財団法人日本建築家協会 一般社団法人日本建築協会



2025年度開催の様子

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2026
10.16-26

「Under 35 Architects exhibition 35 歳以下の若手建築家による建築の展覧会 2026」は、開催 17 年目となる今秋、大阪駅前・うめきたシップホールにて開催します。昨年末より若手建築家を対象として、これからの活躍を期待される 35 歳以下の出展候補者を、全国から公募で募り、日本を代表するひと世代上の建築家の中から本年は、建築家である五十嵐淳氏による厳正な審査を経て、出展若手建築家が選ばれました。また開催中に行うシンポジウムでは、優秀な展示作品を審査・選出し、Under 35 Architects exhibition 2026Gold Medal 賞、Tyo Ito Prize (伊東賞) を授与します。本展は、これからの活躍が期待される若手建築家に発表の機会を与え、日本の建築の可能性を提示し、建築の今と未来を知る最高の舞台となるでしょう。

RELATED EVENTS | 関連イベント(展覧会会場内) [予告]

うめきたシップホール 2 階

- **ギャラリーイベント** 各回定員 | 30 名
12:30 開場-13:00 開演-15:00 終了-15:30 閉場(10/17,26 は 12 時開演)
- **ギャラリートーク** 各回定員 | 30 名
15:30 開場-16:00 開演-17:00 終了-17:30 閉場
- **イブニングレクチャー** 各回定員 | 30 名(当日整理券配布)
17:30 開場-18:00 開演-19:30 終了-20:00 閉場(10/16,26 は記載確認)

Fri	Sat
16 開幕 (展覧会開催初日) 12:00 開場 20:00 閉館	17 12:00-14:00 ギャラリーイベント ユニオン
13:00-15:00 ギャラリーイベント シエルター	15:30-19:30 記念シンポジウム I ゲスト建築家 芦澤竜一、五十嵐淳、 永山祐子、平田晃久、 平沼孝啓、藤本壮介、 吉村靖孝 五十嵐太郎、倉方俊輔 meets U-35 出展者
16:00-17:30 イブニングレクチャー 藤本壮介	

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
18 13:00-15:00 ギャラリーイベント J I A	19 13:00-15:00 ギャラリーイベント オカムラ	20	21 13:00-15:00 ギャラリーイベント 生きた建築ミュージアム	22 13:00-15:00 ギャラリーイベント バナソニック	23 13:00-15:00 ギャラリーイベント ダイキン工業	24 15:30-19:30 記念シンポジウム II ゲスト建築家 伊東豊雄 進行 平田晃久 平沼孝啓 藤本壮介 meets U-35 出展者
16:00-17:00 ギャラリートーク 甲斐貴大	16:00-17:00 ギャラリートーク Hana Hayakawa Greer	16:00-17:00 ギャラリートーク 佐藤熊弥	16:00-17:00 ギャラリートーク 保坂整	16:00-17:00 ギャラリートーク Ghali Bouayad	16:00-17:00 ギャラリートーク 田代夢々	
18:00-19:30 イブニングレクチャー 平田晃久	18:00-19:30 イブニングレクチャー 五十嵐淳	18:00-19:30 イブニングレクチャー 吉村靖孝	18:00-19:30 イブニングレクチャー 倉方俊輔	18:00-19:30 イブニングレクチャー 芦澤竜一	18:00-19:30 イブニングレクチャー 五十嵐太郎	

25 13:00-15:00 ギャラリーイベント カッシーナ・イクスシー	26 最終日 12:00-14:00 ギャラリーイベント ケイミュー	※ギャラリーイベント・ギャラリートークは事前のお申し込みが必要です。 ※イブニングレクチャーは当日 12 時より、シップホール 2 階にて整理券を配布します。(当日に限り展覧会場へ再入場可能・最終日分は前日配布) ※講演内容、時間、および講演者は変更になる場合があります。
16:00-17:00 ギャラリートーク 湯ノ迫史	15:00-16:30 イブニングレクチャー 永山祐子	● 展覧会入場料が必要です(¥1,000)
18:00-19:30 イブニングレクチャー 平沼孝啓	(展覧会開催終了日) 16:30 最終入場 17:00 閉館	● 要事前申込み http://u35.aaf.ac/ または【U35】で検索

※ 定員になり次第、申込みを締切ります。予めご了承ください。

※ 講演内容、時間、および講演者は変更になる場合があります。最新情報はウェブサイトよりご確認ください。

U-35

Under 35 Architects
exhibition 2026
10.16-26

記念シンポジウム

U-35 記念シンポジウム I meets U-35出展若手建築家

日時 2026年10月17日(土) 15:30-19:30

(14:00 開場 15:30 第一部開演 17:30 第二部開演 19:30 終了)

ゲスト建築家・建築史家

芦澤竜一 × 五十嵐淳 × 永山祐子 × 平田晃久 × 平沼孝啓 × 藤本壮介 × 吉村靖孝 × 五十嵐太郎 × 倉方俊輔



芦澤竜一(あしざわ・りゅういち)建築家
1971年神奈川県生まれ。94年早稲田大学卒業後、安藤忠雄建築研究所勤務。01年芦澤竜一建築設計事務所設立。滋賀県立大学教授。日本建築士会連合会賞など国内外で多くの賞を受賞している。



永山祐子(ながやま・ゆうこ)建築家
1975年東京生まれ。98-02年青木淳建築計画事務所勤務。02年永山祐子建築設計設立。主な仕事「LOUIS VUITTON 京都大丸店」「ドバイ国際博覧会日本館」「東急歌舞伎町タワー(2023)」など。



平沼孝啓(ひらぬま・こうき)建築家
1971年大阪生まれ。ロンドンのAAスクールで建築を学び99年平沼孝啓建築研究所設立。08年「東京大学くうかん実験棟」でグランドデザイン国際建築賞、18年「建築の展覧会」で日本建築学会教育賞。



吉村靖孝(よしむら・やすたか)建築家
1972年愛知生まれ。97年早稲田大学大学院修士課程修了。99-01年MVRDV勤務。05年吉村靖孝建築設計事務所設立。早稲田大学教授。主な受賞に吉岡賞、アジアデザイン賞など多数を受賞する。



五十嵐太郎(いがらし・たろう)建築史・批評家
1967年パリ(フランス)生まれ。92年東京大学大学院修士課程修了。博士(工学)。東北大学教授。あいちトリエンナーレ2013芸術監督。芸術選奨新人賞など多数を受賞する。



五十嵐淳(いがらし・じゅん)建築家
1970年北海道生まれ。97年五十嵐淳建築設計事務所設立。著書「五十嵐淳 / 状態の表示」(10年彰国社)、「五十嵐淳/状態の構築」(11年TOTO出版)。主な受賞・吉岡賞、JIA新人賞、北海道建築賞など。



平田晃久(ひらた・あきひさ)建築家
1971年大阪生まれ。97-05年伊東豊雄建築設計事務所勤務。05年平田晃久建築設計事務所設立。現在、京都大学教授。第13回ベネチア・ビエンナーレ金獅子賞(日本館)、22年日本建築学会賞など多数を受賞。



藤本壮介(ふじもと・そうすけ)建築家
1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、00年藤本壮介建築設計事務所設立。主な作品にロンドンのサーペントインパビリオンなど。第13回ベネチア・ビエンナーレ金獅子賞(日本館)など多数を受賞する。



倉方俊輔(くらかた・しゅんすけ)建築史家
1971年東京生まれ。大阪公立大学教授。『東京モダン建築さんぽ』『吉阪隆正とル・コルブジエ』『伊東忠太建築資料集』など著書多数。イケフェス大阪実行委員。主な受賞に日本建築学会賞(業績)(教育貢献)ほか。

出展者の作品発表とゲスト建築家による審査により、Under 35 Architects exhibition 2026 Gold Medal が1点贈られます。

U-35 記念シンポジウム II meets U-35出展若手建築家

日時 2026年10月24日(土) 15:30-19:30

(14:00 開場 15:30 第一部開演 18:00 第二部開演 19:30 終了)

ゲスト建築家 伊東豊雄



進行(建築家)

平田晃久 × 平沼孝啓 × 藤本壮介

本展のファウンダーともいえる'71年生まれの3名の建築家が、'41年生まれの伊東豊雄を迎え、前週の審議に基づく若い出展者たちの意向をくんで、あらたな価値へと導く議論を進めていきます。

伊東豊雄(いとう・とよお)建築家

1941年生まれ。65年東京大学工学部建築学科卒業。近作に「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院(台湾)」、「水戸市民会館」、「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル」など。日本建築学会賞、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞。2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築のあり方を考える場として様々な活動を行っている。

伊東豊雄氏によりこれから世界での活躍が期待できる若手建築家を出展者より1組選出し、Toyo Ito Prize (伊東賞) が贈られます。

記念シンポジウム I・II 共通

会場 グランフロント大阪 北館4階 ナレッジキャピタル ナレッジシアター

定員 各回 381名 (事前申込制・当日会場にて先着順座席選択)

入場 各回 ¥1,000

申込方法 ウェブサイト <http://u35.aaf.ac/> の申込みフォームよりお申し込みください。